

# WEEKLY REPORT

平田米山記念奨学委員長

## スローガン「世界に笑顔と平和を届けよう」

事業の根幹を成す精神「二度と戦争の悲劇を繰り返さないために“平和日本”を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したい」という戦後のロータリアン達の強い願いを常に念頭に置き、将来、母国の各分野でリーダーとなる可能性のある奨学生に「平和国家・日本」への理解を深めてもらえるよう、米山奨学事業を活発に行ってまいります。この事業が、ロータリー究極の目標である「世界平和」に一歩でも貢献できる結果を出せると信じます。

## 24-25年度活動方針 テーマ:楽しい事業活動を!

活動は楽しく、笑顔あふれる時間にしていく。奨学生が笑顔で活動できるよう、委員一同が気遣いと配慮たやさない。

### (1)米山奨学生・学友の人材育成に貢献する

・今年度の卓話実施クラブは35クラブ(+IM2回)→目標50クラブ実施を目指す。特に世話クラブ以外のクラブでの卓話を増やす

・7月13日(土)実施予定の委員長会議にクラブ会長もしくは幹事も出席

・10月米山月間を山場とした集中取り組み

### (2)学友活動支援とPR、交流深耕化

・2790地区学友会設立30周年総会の開催

・リクリエーション、BBQ大会、忘年会等催事支援と交流拡大

・活動の紹介。世界で活躍する学友など・メンバー増強及び予算の確保を目指す。

### (3)寄付金増進

・地区目標額 一人15000円 ・米山功労金(10万円) 功労者マルチプル(20~90万円)の増加を推進

・奨学生卓話時に同行の米山地区委員から呼びかけを行う。

### (4)各種行事を委員全員とカウンセラーで分担

・役割分担を明確にし、委員全員とカウンセラーが連携して活動に取り組む

・主役はあくまで奨学生であり、奨学生がロータリー活動を理解しロータリアンと交流し、将来の目標に近づけるよう、サポートしていく。

米山奨学事業を楽しもう!!Enjoy ROTARY!

## 訃報

大熊 一寿 会員がご逝去されました。

ご冥福をお祈りするとともに謹んでお知らせ申し上げます。



《会報編集委員》平野崇広・岡本真理子・小椋伸也・佐久間音弥・渋谷剛士

社会奉仕基金 2906円

Rotary 2023-2024年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

# 松戸北ロータリークラブ会報



「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

例会出席率 71.0%

第2435回 例会 2024年 5月8日(水)

- |                |               |           |                                       |
|----------------|---------------|-----------|---------------------------------------|
| ■国際ロータリー会長     | ゴードンR. マッキナリー | ■例会日      | 毎週水曜日12:30より(第1例会18:30)               |
| ■第2790地区ガバナー   | 鵜沢 和広         | ■例会場      | 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」                       |
| ■第13Gガバナー補佐    | 鈴木 悦郎         | ■事務所      | 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101             |
| ■松戸北ロータリークラブ会長 | 小澤 直之         | ■TEL/FAX  | 047-711-5950 / 047-711-5910           |
| ■松戸北ロータリークラブ幹事 | 高橋 一彦         | ■Web/Mail | www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

## <第2418回 例会プログラム>

司会 佐久間音弥会員

18:30 点鐘	小澤直之会長
国歌及びロータリーソング斉唱	
【♪君が代♪奉仕の理想】	
18:35 会食	
18:55 例会再開	
会長挨拶・報告	小澤直之会長
19:00 地区研修協議会報告	
(1)三村次年度研修リーダー	
(2)大川高明次年度出席親睦委員長	
(3)平田次年度米山記念奨学委員長	
19:20 【委員会報告】	
出席親睦委員会	森谷充伯委員長
諸事お祝い・本日の出席率発表	
社会奉仕委員会 本日の社会奉仕基金発表	大塚精一委員長
ニコニコ委員会 本日のニコニコ発表	吉田俊一会員
19:30 四つのテスト/点鐘	小澤直之会長



## <会長挨拶>

4月29日は連休にもかかわらず、地区ラーニング協議会へ参加した次年度委員長の皆様は大変お疲れ様でした。協議会終了後の西クラブとの合同ファイヤーサイドも大人数で非常に盛り上がりました。親睦も深まり満喫した1日でした。そんな連休中に大熊会員の思いもよらぬ訃報が入り気持ちが混乱しました。つい2週間前の講師例会には息子さんまで連れて参加して、いつものように大きな声で爆笑していたほど元気だっただけに今回の事は受け入れづらい事実です。インパクトが強いキャラクターでしたから、もう例会に来ないとなると何かポッカリ空いた感があって寂しさを感じます。大熊一寿さんのご逝去にお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

### <地区研修協議会報告>

三村次年度研修リーダー

広尾ロータリークラブの服部陽子氏の講演の概要をご紹介させていただきます。

(1)会員が求めるクラブにおける体験

1・例会の楽しみ 2・有意義な奉仕 3・リーダーへの信頼 4・人のつながり 5・個人の成長の機会

(2)ポールハリスの言葉

私は、ロータリーの草創期が始まったばかりと考えたいと思います。今までと同じくらいしなければならないことがたくさんあります。万華鏡のような変化が起きています。ロータリーはパイオニアとなり続けなければなりません。さもなければ進歩に取り残されるでしょう。(1945年2月)

(3)変化について

①変化の風が吹くとき、防壁を立てる人もあれば、風車を作る人もある。

②今、変化の時。その変化を拒むものは 長い年月をかけて培ってきた大切なものを失いはしないだろうか  
変化ではなく、別のものになってしまうのではないか

③大事なものを確認する、守り通す 大きな変化に向けて羽ばたく時こそその前に無くしてはならないものをしっかりと確認することが大切。そうでないと羽ばたきが小さくなり思い切って羽ばたくことができない

(4)変わることはないロータリーの原点

ロータリーの標語:超我の奉仕 最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる

ロータリーの目的:意義ある事業の基礎として...

4つのテスト:言行はこれに照らしてから

(5)必要な変化と課題その1

継続性 単年度ロータリーにとっての継続性 奉仕活動の複数年化 継続性の中で年度の個性を出すか

(6)必要な変化と課題その2

多世代の共存 人生100年時代に対応する組織 楽しさ、奥行きのある深さを持った組織

若い世代とシニア世代が繋がってインクルーシブなクラブ作り

(7)必要な変化と課題その3

①インクルーシブなクラブへ DEIを理解し実践することが私たちの意識改革につながる

②異なるバックグラウンドの会員を受け入れる公正さ、みんなが同じに大切になれて、誰もがロータリーを楽しむことができる

③クラブに笑顔がたくさんあるか

(8)全員参加でオーケストラのようなクラブ作り

・ロータリークラブに傍観者はいません。それぞれ、自分の得意な楽器を持ってください。そして会長の指揮に合わせて素晴らしいハーモニーを創りましょう。

大川高明次期親睦委員長

管理運営統括委員会は会員増強・退会防止委員会、広報・公共イメージ向上委員会、フェロシップ・親睦活動委員会の3委員会です。

(1)ステファニーA・アーチック次期RI会長の会員増強・退会防止に関するメッセージ

・クラブでの体験を会員にとって、魅力的なものとするために必要な対策をとること

・地区が過去50年間に、同じ方法で物事を行ってきたのなら見直す時が来ている。

・地区内クラブが活発に活動していない、会員が減っている場合、地域に社会にもっとあった新クラブ結成にする時が来ているかもしれない

・クラブや地区が長年変わっていないからといって誰も変化を望んでいない

・好ましい変化をもたらす一つの方法は、クラブで、多様性、公平さ、インクルージョン(DEI)の原則を取り入れること

・地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプでも、行動思考の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただきたい。

(2)寒郡次期ガバナーの第2790地区のメッセージ(ロータリーアクションプラン)

・私たちの影響力をもっと増やそう

ロータリーのプログラムや体験に焦点/活動結果を測る能力/ポリオ根絶

・携わる人の関りを増進させよう

クラブ会員の積極的な参加/個人的、職業的な繋がりを構築/リーダーシップの育成、スキルアップ

・私たちの届く範囲を拡大していこう(現状の友好団体との関り)

会員基盤や参加者を多様に/ロータリー参加の新しい筋道の創造

ロータリーの開放性とアピール

・私たちの適用する能力を高めよう(ロータリーは変わってゆく適応力を持つ)

研究と確信、リスクをいとわない文化/ガバナンスや構造の合理化

意思決定に多様な視点

(3)ロータリーの公共イメージと認知度の向上とはより多くの人にロータリーを正當に知っていただきより良いイメージを持っていただくための活動です。奉仕活動、イベント等をマスメディアに連絡し、ソーシャルメディアを活用した広報活動に努める※2025年3月ロータリーデーにプロ野球のロッテのOP戦でコラボする予定です。